

デーリー東北  
2019年(令和元年)11月28日(木曜日)(13)

## 小坂谷教授(八工大)三味線演奏を譜面化

# 津軽の民謡 ピアノで



「津軽しょんがら節」をピアノで演奏する佐藤慎悟さん

## プロ奏者演奏 異色のコラボ実現

**八戸** 三味線の演奏を自動で譜面に起こす「自動採譜装置」の開発に励んでいる八戸工業大大学院の小坂谷壽一教授は今年、津軽地方の民謡「津軽しょんがら節」の譜面化に成功した。同大で25日、プロピアノ奏者の佐藤慎悟さんが同曲の楽譜を演奏。西洋楽器と日本の民謡という異色のコラボレーションを実現させた。

(小嶋嘉文)

小坂谷教授は2009年に研究に着手。専門の三味線を弾けば、自動的に西洋楽譜と三味線譜に落とし込むことができ、口伝で継承されてきた楽曲の正確な伝承に期待されている。

この日は、大学の授業で演奏が披露され、佐藤さんが三味線ならではの味わい深い楽曲を、見事にピアノで再

現。興味深い試みに、学生らも大きな拍手を送った。佐藤さんは「表現の違いを試されているようで、新しいチャレンジだった」と話した。小坂谷教授は「ピアノで聞く民謡はまた違った新鮮さがあった」と語り、「今後は国内外の民謡や歌の譜面化も進めていきたい」と意欲を示した。